


東成瀬村

議会だより

No.168

平成24年10月20日発行



燃える秋

紅葉色づく栗駒山荘

10/16 国道342号線から撮影

の成果を認定!

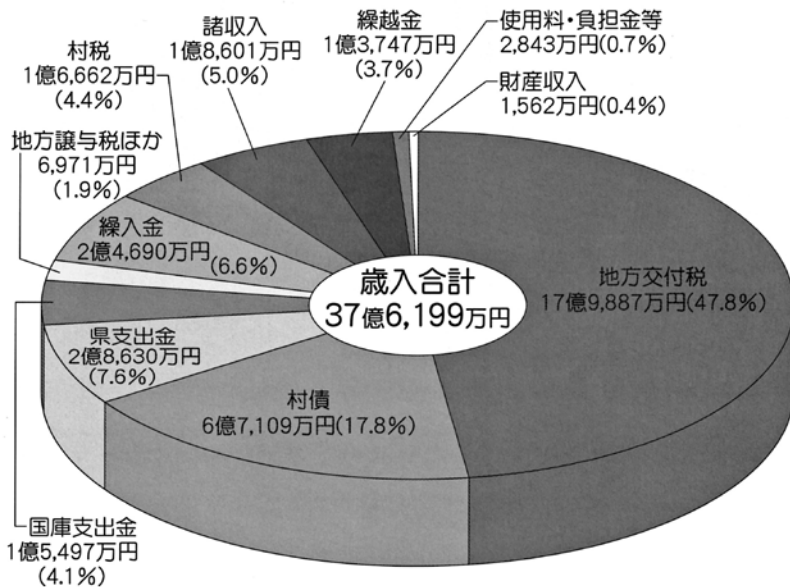
決算議会
9月定例会

平成23年度決算のあらまし

歳出総額は、一般会計が36億8,581万円、特別会計が13億9,712万円で7つの会計の合計は50億8,293万円となっています。22年度に対し3億9,178万円、7.2%の減額となっています。

これに対して歳入総額は、歳出決算を9,486万上回る51億7,779万円で、22年度に対し、4億6,263万円、8.2%の減額となりました。

歳入歳出の大幅な減額は保育所兼児童館建設が22年度で終了したことが主な要因となっています。



9月定例会は、4日から14日までの11日間の会期で開催されました。平成23年度の一般会計・特別会計決算9件、人事2件、条例など3件、契約締結1件、補正予算8件の合計23件と陳情2件を採択し、議員発議を含む意見書など4件をすべて全会一致で原案のとおり、同意・認定・可決しました。また、一般質問は2議員が登壇し、村政をたどりました。

会計	歳入	歳出
国民健康保険(事業勘定)	3億2,380万円	3億1,700万円
国民健康保険(直営診療施設勘定)	1億1,671万円	1億1,055万円
老人保健	—	—
後期高齢者医療	2,217万円	2,189万円
介護保険(保険事業勘定)	2億5,610万円	2億5,610万円
介護保険(介護サービス事業勘定)	2億9,034万円	2億8,679万円
簡易水道事業	3億2,428万円	3億2,322万円
下水道事業	8,240万円	8,157万円

特別会計とともに審議された特別会計も8会計全てが認定されました。歳出総額では、診療所を運営する国保(直診)特別会計は内視鏡など診療機器の購入により、4千645万円、簡易水道事業特別会計では田子内地区の浄水棟築造工事などにより、6千246万円が増加しました。

特別会計も認定

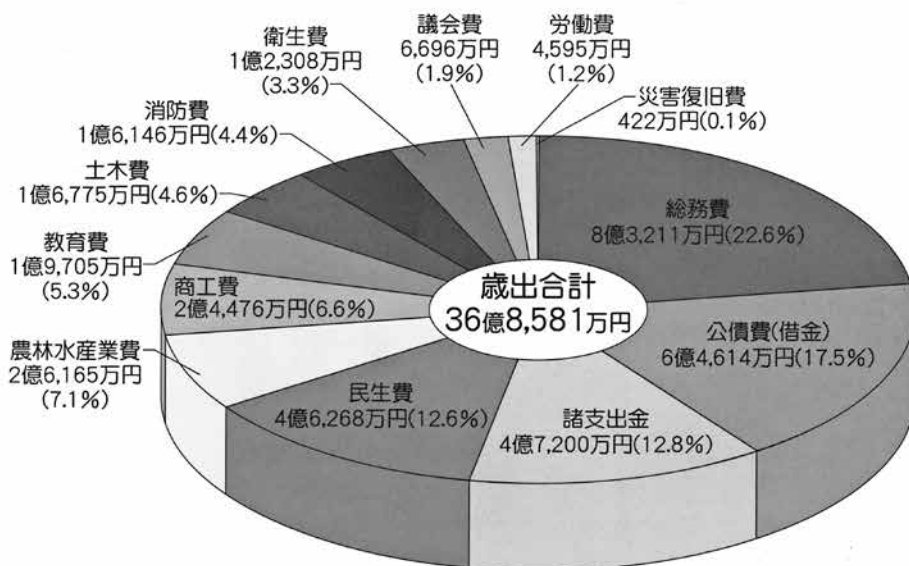
平成23年度一般会計歳出総額

36億8,581万円

村民1人あたり
約132万円

特別会計も含めると
約182万円を使いました!
人口 2,794人(H24.4.1現在)

歳入(財源)	37億6,199万円
歳出(使いみち)	36億8,581万円
繰越金	7,618万円
実質収支	5,661万円



区分	H21	H22	H23
実質赤字比率	—	—	—
連結実質赤字比率	—	—	—
実質公債費比率	19.3	16.5	12.6
将来負担率	—	—	—

財政健全化を判断するため、実質公債費比率・将来負担比率・実質赤字比率・連結赤字比率の4つの指標があり、これらの比率は少ないほど健全な状態にあると判断されます。

村における平成23年度決算では実質公債費比率だけが算定され、他は比率がありません。特に、将来負担比率が発生しないのは県内では本村のみで、村債(借金)など将来負担しなければならぬ金額を基金(預金)の額が上回っている状況です。

また、実質公債費比率もここ数年で大きく下がっており、良好な状態にあると言えます。

財政健全化の評価は?

23年度成果を審査



決算特別委員会

総務企画課

大きな増だが

質問 人件費が5千861

万円の増額となった理由は、

答弁 村営となった保育所の職員や副村長の人件費が増額の要因となっている。

将来的にどうするか

質問 大柳沼自然公園は観光面など将来的にどうするか。

答弁 24年度で検討する。

業務は計画的か

質問 新規起業育成支援金として(株)TAKAYAに2千万円を支出しているが、業務は計画的に行われているか。

答弁 今年度、8月下旬か

らプランで物産販売を始めており計画に沿った内容と認識している。

税務会計課

指導・連携体制は

質問 村税の収入未済額が減額しているが、県の滞納整理機構との連携体制は、

答弁 7月12月までは月2回、1月から3月までは月1回のペースで滞納整理の手法など指導を受けている。

民生課

積算根拠は

質問 雪下ろしサービス事業補助金の算定根拠は、

答弁 社会福祉協議会への補助金で1万円の1300回分で村は4分の1を負担す

る。

死亡率トップは

質問 村の死亡率で最も高いのは何か。

答弁 がんで、1位が胃がん、2位が肺がんとなっている。

耐震型を設置していくか

質問 岩井川地区では耐震型の防火水槽を設置したが、今後も耐震型を設置していくのか。

答弁 今後はそうなる。

レベルが高くないか

質問 自殺予防における普及啓発は初歩的なものから実施してどうか。

答弁 啓蒙普及活動に反映させていきたい。

虐待はあったか

質問 村において、ここ2〜3年で子どもの虐待はあったか。

答弁 23年度に1件あった。

小刻みに増やす可能性は

質問 1日人間ドックの対象年齢を小刻みに増やしてはどうか。

答弁 来年度予算に向けて検討する。

協議体制は

質問 少子化対策は複数の課で行っているが協議体制はどうなっているか。

答弁 個々の担当と総務企画課で打合せを行い実施している。

幸寿苑

何回の謝礼か

質問 雪下ろしの謝礼は何回分か。

答弁 平良部落と相談し1回の謝礼とした。

合理的な運営か

質問 居宅の介護サービスを社会福祉協議会から移管したが合理的な運営となっているか。

答弁 なっている。

診療所

増額の理由は

質問 外来収入の増額の理由は何か。

答弁 内視鏡の検査等による増額が主な理由となっている。

農林建設課

どのような内容か

質問 女性起業者高度化支援事業補助金の内容は何か。

答弁 県単の補助事業で「なるせ加工研究会」が購入する備品に対して、県と村が2分の1ずつ補助している。

管理区分は

質問 パークゴルフ場の指定管理にパーク園は該当するか。芝生管理委託料は他の業者か。

答弁 パラ園も入っている。芝生管理は消毒など業の問題もあり別の業者に委託している。

着工はいつか

質問 伊達堰改修事業はどのようになるか。

答弁 河川にかかる分として頭首工整備を県事業でお願いしており、それらが整いつつ次第に着工となる。

予防対策は

質問 ナラ枯れとしての村の現状と予防対策は。

答弁 間木地区で予防対策現地調査、防除対策の3業務を行った。滝ノ沢地区でも実施しているが拡大して

いる。

100万円アップの理由は

質問 転作等確認測量委託料が100万円アップした理由は何か。

答弁 戸別所得補償の本格実施に伴い、部分調整分も測量したことによる。

教育委員会

連絡体制は

質問 警備委託料で小・中学校の額の違いは。また、夜間における火災報知の連絡体制は。

答弁 委託料は学校規模の違いにより金額に差が出る。火災報知器鳴動時は警備会社の警備員から校長、教頭、教育委員会に連絡が入る。

活動の考え方は

質問 公民館活動に対する見方、考え方は。

答弁 公民館の分館もなく、様々な事業を（各地域へ）地域づくり（事業）という形で行っている。

委託先はどこか

質問 村民体育館開放の委託先はどこか、開放実績は。

ラブに委託している。23年度は開放日数が99日で利用者は1千188人となっている。

監査委員の決算審査意見



定例会初日に高橋代表監査委員が審査結果を報告しました

地方財政の厳しさは不変
職員が一丸となって村づくりに邁進を

監査委員

高橋 善一
佐藤 正次郎

平成24年8月9日・10日の2日間に審査を行った。

【意見】

形式収支は全会計とも黒字となったが、経済情勢は依然として不安定であり、

【審査結果】

審査に付された一般会計及び特別会計の歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調査の計数は、それぞれの関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

主な質疑

今回の定例会では、条例案を10日、補正予算案を最終日の14日に審議しました。主な質疑を要約してお伝えします。

また、「育苗センターの設置条例」が提案されたことから、休会となった9月6日に現地を視察し事前に概要の説明を受けました。

育苗センターは完全村有化へ 水耕試験栽培で有効活用を図る



育苗センター業務を行っているJ.A職員より説明を受ける

育苗センター設置条例

質問 土地を購入し、村有施設として指定管理の条項を設けた意図は。

答弁 平成9年、土地については事業主体の農協が持ち、施設は補助事業で（村が）整備した。今回、土地を買収し（全体を）村が運営していくのが当然として提案した。水耕試験栽培など施設の有効活用として業務委託よりも指定管理という考えがある。

質問 モデル的に行う水耕栽培の考え方は。

答弁 （規模は）大きくないが、モデル事業により農家への普及、新たにやりたい方への研修などを想定しながら、村の中で広がっていくようなモデルになればいいと考えている。

鳥獣被害対策実施隊に関する条例

質問 狩猟税減免の内容は、猟友会の会員全員が隊員になるか。

答弁 （狩猟）免許を更新する際の税金で、隊員は半額になる見込み。免許を取得して2〜3年の期間を経て任命したい。

質問 報酬はあるか。

答弁 ある。消防団と同等程度と考えている。

質問 この条例を発動していく具体的な例は。

答弁 一般的には有害駆除を念頭に網羅し、計画書に盛り込みたい。

一般会計は8千752万円3千円を追加補正 普通交付税は1億2千66万5千円の増額

一般会計補正予算

質問 常備消防費における負担金増の内訳は。

答弁 J.A共済連から寄贈される高規格救急車の装備品に対する負担分となっている。

質問 村税における滞納繰越額の内訳は。

答弁 民税は現年度分が8人、過年度分が12人、固定資産税は現年度分が25人、過年度分が17人、軽自動車税は、現年度分が12人、過年度分が10人となっている。

質問 普通交付税増額の根拠は。

答弁 新規に地域経済雇用対策費が計上されたことなどによる。

質問 財産管理費の工事費の内容は。

答弁 役場前の電話ボックスを少し移動し、バス停を解体して、その付近へ移転する。

質問 観光費の設計監理委託料の内訳は。

答弁 栗駒山荘の浴槽の浸食を調査する。

質問 老人クラブ助成金を23万円追加する根拠は。

答弁 事務員の賃金で、事務局を強化する。

質問 農業振興費で「加工業務用備品購入」は（村農産物）加工所のものだと思うが、内容は。

答弁 えたまめのさやはぎ、皮はぎ機器となっている。

24年度一般会計補正予算(第3号)の主なもの

歳入	
○村税	
滞納繰越分の増	427万円
○地方交付税	
普通交付税の増	1億2,067万円
○繰入金	
財政調整基金繰入金の減	▲1億円
○繰越金	
前年度繰越金の増	3,661万円
○諸収入	
奨学資金貸付金収入ほかの増	204万円
○村債	
育苗センター整備事業債ほかの増	2,395万円
歳出	
○総務費	
財産管理費 調査測量設計等委託料追加	50万円
財産管理費 本工事費追加	115万円
地域間交流事業助成金追加	30万円
情報化対策費 修繕料追加	200万円
" 町村電算共同化調査費	64万円
非常勤職員等公務災害補償拠出負担金	231万円
○民生費	
老人クラブ助成金追加	23万円
○農林水産業費	
育苗センター整備事業(土地購入費など)	2,200万円
農村公園施設の浄化槽設置ほか	375万円
○商工費	
設計監理業務委託料	215万円
○土木費	
ジュネス栗駒パークゴルフ場浄化槽設置	238万円
○消防費	
設計監理業務委託料(五里台・平良ポンプ小屋)	175万円

請願・陳情

9月定例会には2件の陳情が提出され、所管する常任委員会に付託し、審査の結果、採択すべきものとし、要請に基づき、意見書を提出することに決定しました。

また、この他に日本郵政グループが、山間地や過疎地の郵便局の営業短縮などの検討を始めたことに対し、検討中止を求める意見書を政府機関に提出することを議員発議で提案し可決されました。

○地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の採択についての陳情

(陳情者) 全国森林環境税創設促進議員連盟

会長(新潟県村上市議会議長) 板垣一徳

○少人数学級の推進、義務教育費国庫負担率2分の1復元に係る意見書採択についての陳情

(陳情者) 秋田県教職員組合

執行委員長 伊藤正通外1名

議員発議で政府に意見書提出

「山間部など利用者の少ない郵便局の窓口業務などの営業日数や時間短縮の検討」の中止を求める意見書

今春、改正郵政民営化法等の一部改正法が成立し、三事業一体サービスの確保、金融ユニバーサルサービスが義務づけられました。

しかし、日本郵政グループでは、山間地など過疎地の郵便局を隔日又は半日営業で行う検討を始めており、こうした営業日数や時間の短縮は、改正法の趣旨となる「三事業一体であまねく全国において公平に利用できること」に反するばかりでなく、当該郵便局の廃止への一途をたどることも予想されます。

市町村の広域合併が進んだ現在、地域再生や地域振興の核となり、郵政事業が果たしている公的・社会的役割の重要性や全国に張り巡らされた郵便局ネットワークは国民の貴重な財産であることに鑑み、こうした検討は即時に中止するよう要請します。

教育委員の任命に同意

鶴飼・鈴木両氏を再任

24年10月16日で任期満了となる教育委員について、鶴飼孝(横手市68歳)、鈴木恵子(樺台49歳)の両氏を再任することに満場一致で同意しました。

任期は、24年10月17日から28年10月16日まで。

佐々木 健夫 議員

村職員10月採用緊急なことがあったか

村長 自然災害と産休対応による



質問 土木技師、保健師を4月募集10月採用と広報に掲載しているが、なにか緊急なことがあったか。また1次、2次試験の結果はどうだったか。

村長 土木技師は昨年の募集で合格者がなく、最近頻発している自然災害への対応等に即戦力の職員が必要であった。保健師については産休に入っただけなどを考えて募集した。土木技師の応募者は1名、保健師は3名応募し2名の方が受験した。一次、二次試験で合格点に達した者は保健師1名であり、採用内定の通知をした。

農産物加工所増改築工事、再々の工期延長はなぜか

質問 岩井川の農産物加工所

増改築工事期限が当初7月23日から8月6日へ延長し、更に8月31日まで延長しているが、お盆の帰省客を考えると理解できない。延長した理由は何か。

村長 建物の西側擁壁を新たに設置することにしたこと。再々延長は施設内の電力が不足になり、電力アップの工事が必要になったためで、発注側の工期延長の扱いになる。

スキーリフト休止による老朽損傷アップはなぜか

質問 第4クワッドリフトが2シーズン休止になっているが、会社の都合での休止であり、休止による老朽損傷アップなど再稼働に支障がないか。もし支障があれば会社の責任

にならないか。
村長 リフト休止によるサビなどは若干あるにしても老朽損傷はなく再稼働の支障はないと思っているので、会社の責任というようないことはないと考えている。

栗駒リゾートから栗駒開発への委託料などは今も無償か

質問 栗駒山荘の管理は村と栗駒リゾートが管理運営委託を結び、次に栗駒リゾートが栗駒開発へ管理のみの再委託をしている。山荘に収益が出た場合はどうするか両社長が協議決定するところ。この収益と管理委託料は今も無償か。

村長 栗駒開発は須川高原温泉側と村が信義に基づき、山荘へ分湯するための受け皿として

の会社で、当初から損益はお互いに求め合わないということになっており、支払いはないし、今後も求められないだろうと考えている。

リゾートへ支払う委託料1千220万円の根拠は

質問 スキー場施設はこれまで委託料の支払いがなかったが、24年度予算ではリゾートへスキー場管理委託料として1千220万円を予算化しているが、その理由と根拠は何か。

村長 スキー場は4月から11月まで収入がないが、この間も人件費等コストがあり、他の施設同様に固定化している費用は村が支払うべきとのこととで予算化したものである。

村が直営でやったとしても確実にかかる経費を計上した。
小・中学力テスト高しベルの要因は

質問 村の小・中の学力テストの結果が全県の中でもトップクラスとのことだが、要因は何か。

教育長 要因としては

- ①村づくりは人づくりをモットーに教育に対する熱意と努力
- ②小・中連携教育など知・徳・体バランスよく考えた教育
- ③教職員、保護者、地域、行政の村民が丸となった子ども教育などがあげられる。

【質問】 2009年に「日本で最も美しい村連合」に加盟したが、どのような経緯で加盟申請したか。

【村長】 東北（フロック）の理事をしている（山形県の）大蔵村の村長から「日本で最も美しい村連合」に加入してくれないか。調査に行かせるから」という経過が始まり、その後内々に村内の調査活動が行われた。そうした経緯で、加盟申請し、資格審査にあたっては、田子内橋と仙北道、奥羽山脈「緑の回廊」の三つの資源で審査を受けた。

【質問】 この連合についての村民への周知と今後どのような方向性で活動に取り組む予定か。

【村長】 住民に対する周知の仕方は物足りないと思っている。

体制の整備を含め具体的に働きかけ、PR活動をしたい。当面は村内の案内標識をあまり華美にしないよう、統一したものでマークを入れるなど村民に周知していきたい。

自主防災組織の取り組み状況は

【質問】 各集落の自主防災組織に向けた取り組み状況と今後の組織育成をどうするか。

【村長】 集落長会議で説明したが、審議の時間も十分でなかったせいもあっていない。年内の早い時期に再度説明会を開催して、秋田県が行う自主防災アドバイザーへの派遣制度も活用して結成していきたい。

東成瀬村防災指導員を置く要綱を定め、現在人選に入っ

ている。防災指導員には、防災知識の普及と自主防災組織の設置育成、訓練、研修会の開催に関する指導を担っていくこととして進めていきたい。定数は5名程度考えている。

村防災計画の見直しはどうか

【質問】 東日本大震災から1年半経つが、秋田県の被害想定も防災計画も見直しされていない状況にある。村の防災計画の見直し、着手体制はどうなっているか。

【村長】 県の計画では平成25年の6月頃までには被害想定調査をすべて終了、25年度に入ったら地域防災計画の見直しに入るようになっていく。災害備蓄品の確保や防災用品の配備、県及び市町村相互の応援

に関する協定、エリアメールの配信、NTT東日本、東北電力との協力の確認など可能なことは進めている。具体的には25年度に着手すべく進めていきたい。着手体制については、民生課が中心に考えていくことになるが、プロジェクトチームを作るか検討材料となる。

いじめ対策の体制・予防策は

【質問】 万が一いじめの実態が把握された場合、どのような体制になっているか。また、予防対策は。

【教育長】 平成14年度に教育委員会、民生児童委員協議会、村議会、学校関係者からなる村のいじめ対策委員会を設置している。小中学校とも、校

内にいじめ対策委員会を設置しており、いじめの訴えがあった場合は、時間を置かず、即時対応をして、いじめを解消する体制を敷いている。いじめはどの学校にも、どの子にも起こりうる、又、いじめは人間として絶対に許されないことであるという事を基本に対応している。

予防策として、実態の把握・教育面談と教育相談の実施・心の教育の実施・温かい人間関係を作ること・自己有用感や自尊意識を育てること・ネットのトラブルから守ることの6点を主に大事にしてきており、今後も大事にしたい。

佐々木 正利 議員

日本で最も美しい村連合加盟の経緯は

村長 大蔵村長（理事）から勧誘があった



水路整備を望む声が最多

常任委員会合同・地区要望現地視察

9月19日、総務教育民生常任委員会と産業建設常任委員会合同で各地区から提出された新規要望事項について、代表の方々から説明を受ける現地調査を実施しました。

調査には、副村長と担当する課長・職員も同行し、終了後にどのように対処するか検討会を開催しました。

村内14地区の新規要望は20件で5地区からは要望がありませんでした。要望の半数が水路の改修や整備で、除雪機械配備の要望が3件ありました。



水路の整備（天江地区）

10月臨時会

10月11日に臨時会が開催され、平成24年度一般会計補正予算（第4号）の1議案が提出され満場一致で可決されました。

— 補正予算の主な内容 —

- ・岩井川地区の空き家（旧コミュニティセンター前）解体処分整備工事費 150万円
- ・成瀬川交流館補修工事費（玄関補修） 35万円
- ・ジュネス栗駒スキー場施設水道漏水対策経費（給水車借上料） 130万円
- ・ジュネス栗駒スキー場施設への水道整備工事（水源地整備としてポーリングを実施） 550万円
- ・台風17号に伴う農業用施設災害復旧費（小貫山堰・遠藤堰・真戸堰・重里台堰・大柳堰・大柳古川地区の農地、6箇所） 250万円

9月定例会議決事項名

教育委員会委員の任命について（鶴岡孝氏を再任）
教育委員会委員の任命について（鈴木恵子氏を再任）
鳥獣被害対策実施隊に関する条例
育苗センター設置条例
過疎地域自立促進計画の変更について （育苗センター整備事業と観光施設整備事業を加えた）
工事請負契約の締結 ※北部地区簡易水道事業低区排水池築造工事 （契約相手方・契約額） 岩野・成瀬特定共同企業体 5,985万円
平成24年度一般会計補正予算（第3号）
平成24年度国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号） (379万9千円の追加)
平成24年度国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）補正予算（第2号） (16万2千円の追加)
平成24年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） (28万7千円の追加)
平成24年度介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第1号） (839万7千円の追加)
平成24年度介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第2号） (357万2千円の追加)
平成24年度簡易水道事業特別会計補正予算（第2号） (153万4千円の追加)
平成24年度下水道事業特別会計補正予算（第2号） (118万3千円の追加)
平成23年度一般会計歳入歳出決算認定
平成23年度国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算認定
平成23年度国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）歳入歳出決算認定
平成23年度老人保健特別会計歳入歳出決算認定
平成23年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
平成23年度介護保険特別会計（保険事業勘定）歳入歳出決算認定
平成23年度介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）歳入歳出決算認定
平成23年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定
平成23年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定

新規温泉探査終了、県に許可申請

掘削経費は約1億円

10月11日、議会全員協議会が開催され、本年度に実施された新規温泉掘削の探査結果が報告され、ジュネス栗駒スキー場第1駐車場が候補地であることや掘削には1億円程度の費用が必要であるとの説明を受けました。

老朽化や度重なる震災の影響と考えられる揚湯管の損傷により、ポンプの交換が不可能となっていたことで、新たな源泉掘削への探査が実施されていましたが、今年8月末にポンプが故障し復旧が困難となったことを受け、新規温泉探査の結果を公開し、早急に掘削へ向けた手続きを行うことになりました。

今後、秋田県に対し温泉法に基づき土地掘削許可の申請を行い、温泉審議会の結果を経て許可を得れば掘削が実施される予定となっています。

掘削かどうか…

議員からは、掘削事業の実施にあたって「現在の温泉施設を

前提としたものでなく、広大な視野で臨むべき」、「大きな費用を投じるのであれば、掛け流しが可能となる程度の温度まで掘り進める覚悟も必要」といった意見が出されました。

主な質疑

質問 ふるさと創生のときにも温泉探査を実施してるがその当時から精度は上がっているか。

答弁 当時はガンマ線、放射線など表面探査が主だったが、現在は豊富な経験と地質構造も調査するので上がっている。

質問 掘削の経費はどれくらいを見込んでいるか。

答弁 1000メートルの掘削で施設整備も含めると約1億円となる。

質問 成功報酬による掘削はあるか。

答弁 受ける業者はほとんどない。

観光ルート確立をどう考えているか

前回事（第167号）

に引き続き、7月6日に開催された議会全員協議会における秋田栗駒リゾート（株）の営業状況報告に対する主な質疑をお知らせします。

質問 現場の責任者が不明確ではないか。

副村長 各ポジションのまとめ役を誰にするか徹底して運営するよう指示しており、組織の見直しもしている。

質問 営業方針に「挨拶の奨励、お客様はもとより職員間においても朝夕の挨拶の実施」とあるが職員同士より、接客が重要でないか。

副村長 基本的にはお客さんに対する挨拶の徹底だが、職員同士の挨拶が聞こえなかったのであえて方針とした。意気込みとして株主総会の日には社長が従業員を集めて話した。

質問 決裁権などの一覧表はあるか。

副村長 処務規則を作成中であり、合わせて作る。

質問 第4クワッドリフトはどうするか。

副村長 今年度中に検討する。

議会全員協議会

視察レポート

7月31日から8月2日までの3日間、常任委員会合同で県外の先進地行政視察調査として北海道の沼田町と美瑛町を訪問しました。その視察概要を報告します。

北の大地に輝く雪のまち「雪中米」のふるさと

産業建設常任委員会副委員長 佐々木 昭次郎

「雪中米」の誕生



沼田町ブランド「雪中米」

北海道沼田町は農業を基幹産業とし、道内でも有数の豪雪地帯となっている。

町ではこの雪を地域資源の一つとして捉え、水稲面積が約2千500ヘクタール、24万俵を生産する米の高付加価値を目指した。

平成8年に雪の冷熱エネルギーを利用して米を貯蔵する世界初の米穀低温貯留乾燥調整施設（スノークールライスファクトリー）を建設し、沼田産「雪中米」として出荷を始めた。



スノークールライスファクトリー



「雪の科学館」は雪の冷蔵庫、網コンテナの中には雪の塊が入っていました。

スノークールライスファクトリーの特徴は、米を粉で貯蔵することで玄米貯蔵より水分調整の必要がなく、自然の湿度で保存できるとや電気冷房より安いコストであること。そして、最大の特徴として、雪の冷気による貯蔵は、新米の風味を長期間維持できること。

雪の科学館による実験では5年ほど貯蔵しているものでもほぼ新米の品質が維持されているデータが紹介された。

町内の99%の米がこの施設に貯蔵されており、例年8月末には在庫がなくなるという。「雪中米」の驚異的なブランド力とその人気には驚いた。

雪山センター

町内から排雪する雪を1カ所に積み上げパーク材で覆い、夏まで保存し、その冷熱エネルギーを周辺地域へ供給する雪山センタープロジェクトを行っている。

この雪を利用し、雪冷房による温度管理システムを導入した椎茸栽培を始め、生産・貯蔵・流通・加工と販売など利雪型農業が町民へと浸透していった。

現在は、雪中貯蔵酒「雪なごり」、「雪中みそ」や「雪中椎茸」など様々な雪中ブランドが出現している。



パーク材に覆われた雪山センター

雪と共生するまちづくり

沼田町の取り組みは、豪雪地帯では「やっかい」な雪を資源として活用することで産業振興へとつながっている。

雪と共生するまちづくり、同じ環境にある私たちの村でも学ぶべき点が多い研修視察となった。

日本で最も美しい村の原点

総務教育民生常任委員会副委員長

鈴木秋雄

丘のまち びえい

欧州を思わせる雄大な丘が幾重にも連なり、十勝岳を背景とするパッチワークのような景観は圧巻の一言。この景観を目当てに北海道内外から多くの観光客が訪れる「丘のまち びえい」は想像をはるかに超える美しい農村でした。私たちは、この景観を守る条例を制定したことに着目し、北海道美瑛町を訪ねました。



「四季彩の丘」には多くの観光客

景観保全への取り組み



すっきりとした街並み

平成元年の総合保養地整備法（リゾート法）施行により、リゾートホテル・ペンションなどの建設ラッシュが予想されたことや観光客と移住者の増加が始まり、景観の破壊が危惧され、保全の気運が高まったことを受け、従前の景観条例を全部改正し、「美瑛の美しい景観を守り育てる条例」が平成15年に制定された。この条例では、景観地域

の指定など詳細な内容を盛り込み、5項目にわたる景観保全対策を定めている。

また、自然と調和した美瑛の玄関口にふさわしい街並みづくりとして、中心市街地で土地区画整理事業を13年間かけ実施し、建築物の統一化や電線の地中化を行い美しい街並みを造り、誘客を目的として道の駅をこの市街地へ建設するなど他に例のない取り組みをしていました。



道の駅「丘のくら」

浜田町長に学ぶ

視察のもう一つの目的として、本村も加盟している「日本で最も美しい村」連合設立の主幹となり現会長となつている浜田町長の講演でした。

その中で、「日本の財産は四季折々のそれぞれの地域の自然や文化、そして故郷の景色であり、私たちに、それを守っていく責務がある」との言葉に、感銘を受けました。



浜田町長が特別講演

「丘のまち」の原点



美瑛の丘は、農家の人々が築いた美しい財産

丘という不効率で危険を伴う地形の中で農業を営み、四季折々の景観を造り続けてきた農家の努力を観光産業と結びつけた「丘のまち」の原点はそこで暮らす人々が築いた美しい農村の保全であり、そうした取り組みを全国に広げることが美しい日本の保全につながると感じました。



菊地常務は、明るく気さくな印象で、会話も弾みました。

この人に聞きたい

かほ Kahō 突撃

いんたびゅう

今回は、今年の春から秋田栗駒リゾート株式会社の常務取締役に就任した菊地時夫さんにインタビューしてみました。

かほ ご出身は平良とお聞きしていますが、間違いはないですか。よろしければ年令、家族構成など。

菊地 間違いないデラっしゅ平良)です。(笑) 年令は57歳、家族は女房と男の子2人ですが、子どもたちは東京と埼玉に住んでいます。

かほ 自分の性格は? ・ ・ 動物に例えると。(笑)

菊地 難しいねえ。 ・ ・ イヌかなあ、おながが空くとワンワン吠えて食べ終わると静かになるみたいに。(笑)

かほ 趣味とか?

菊地 ん、テレビゲームかなあ、息子が置いて行った。(笑)

かほ スキーはやりますか?

菊地 かなり前はやりましたよ。安比にもよく行きましたよ。でも、だんだんスキーは持たないでウイスキーだけを持って行くようになったけどね。(笑)

かほ お酒は強いですか?

菊地 けっこう飲みますねえ、なんでもオツケーです。(笑)

かほ 村出身の常務として注目されていますが、前職は?

菊地 スーパーマーケット(横手市・よねや)に勤めていました。本社でいろいろやりました。

かほ 村の第三セクターとして、秋田栗駒リゾートは何かと話題になることが多いですが、どう感じていますか。

菊地 村の大切な財産として大事に守って行きたいと感じています。

かほ 常務として、会社や社員に望むことは?

菊地 明るく元気な社員、会社になってほしいです。明るく元気なことが一番です!

かほ 最後に今後の抱負をひと言。

菊地 源泉が止まったダメージは大きいけど黒字の会社にして、若い社員の給料を上げてあげたい。

かほ 今日はお忙しい中、ありがとうございます。今後のご活躍をお祈りします。

暫時休憩

きげんじ きりゆうげい

▼猛暑の続いた夏もやっと終わり、吹く風に冷たさを感じる季節となった。

▼刈り取りも終盤となった。我が家の収穫量は昨年よりやや増えて、やっと一安心。

▼ノーベル医学・生理学賞を受賞された京都大の中山氏。会見で「家族の支えに感謝」と。何回も失敗を繰り返してきたからこそ家族の笑顔が身にしみた本音だと思えた。これからも体につけながら研究に頑張っていたきたい。

▼寝る前、孫に絵本を読んでいる。同じ本を何回も読むと「そこ、ちがうよ」とか「ページとばしたよ」とか言われながらも、目をこすり読み聞かせている。孫のためよりも自分のための方が大きいかもしれない。本当の意味での「読書の秋」を楽しみたい。

(委員長・谷藤 怜子)

東成瀬村
議会だより No.168
平成24年10月20日発行

発行 東成瀬村議会
編集 東成瀬村議会広報対策特別委員会
〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1
TEL 0182(47)3411 FAX 0182(47)3117 e-mail gikai@vill.higashinaruse.akita.jp
印刷/株式会社増田印刷所